

分野別専門部会総会

●公益社団法人全国経理教育協会第71回定時総会

5月26日、都市センターホテルを会場として、公益社団法人全国経理教育協会定時総会が開催された。出席者は委任状を含め224名。

吉田松雄理事長のあいさつの後、八文字典昭、上野充憲が選ばれ議長団が構成され議事に入った。

【第1号議案】特例民法法人の事業報告について

当法人の事業状況について理事 岡部隆男（総務委員会委員長）より報告が行われた。

【第2号議案】特例民法法人の決算について 監査報告

当法人の決算について理事 栗原寛隆（財務委員会委員長）より報告が行われたのち、監事梅野直文から監査報告があった。

【第3号議案】公益社団法人の収支予算の変更について

今年度の収支予算について「平成23年度収支予算（案）」の通り変更したい旨及びその理由が詳細に説明された。

【第4号議案】理事及び監事の選任について

岡部理事より、当法人の理事及び監事の全員が本定時総会終了と同時に任期満了退任するため、それぞれ改選する必要があることが説明され、新理事および新監事の選任が行われた。

なお、新理事および監事は以下の通り。

理事 栗原寛隆、吉田祐樹、鈴木一樹、岡部隆男、中島利郎、八文字典昭、秋葉英一、
柏木照正、渡辺敏彦、黒木亮谷、浦山哲郎、中村徹、小寺克一、大岡豊、西村典久、
上野充憲、武田結幸、川野哲彦、久次米健一、田所徹夫、井手脇万詔、赤塚晴彦
石川正一

監事 梅野直文、龍澤正美、照屋行雄

*同日、新任の理事により、臨時理事会が開催され第12代理事長（代表理事）として中島利郎氏が選出された。

【第5号議案】顧問等の承認について

岡部理事より顧問等の推薦者の説明がなされた。

名誉会長 森 喜朗

会 長 麻生太郎

顧 問 菅原 博、柏木照明、角田喜文、上野淳次、菅原一博、吉田松雄

学術顧問 細谷秋男

相談役 沼田義雄

参 与 田所正國

●(社)全国珠算学校連盟第50回通常総会

6月5日、東京都・ホテル大森東急インを会場として、社団法人全国珠算学校連盟第50回通常総会が開催された。出席者は委任状を含め584名。

副会長の開会の言葉、会長あいさつ、定足数の確認による総会成立宣言に続き、議長選出となり、定款により吉田松雄会長が議長に就任し、議事録署名人に岡田良章氏、大島弘道氏が選出され議事に入った。

【第1号議案 平成22年度事業報告並びに収支計算書(案)承認の件～監査報告】

事業報告については各担当委員長、収支決算報告については財務委員長より報告が行われた後、質疑応答後、監事による監査報告が行われ、出席者全員異議無く承認された。

【第2号議案 平成23年度主要行事計画変更と補正予算(案)承認の件】

議長より主要行事の全日本珠算技能競技大会を所管する林副会長からの中止となった経緯説明、会長からの補足説明後、議長が意見を求めたところ、支部によっては選抜の予選大会も済んでおり、是非とも実施して欲しかった。特に6年生は、こうした機会がなくなるわけで、申し訳ないと感じている。そうした生徒に対し、何か励ます方策はないか検討してほしいとの意見が出された。

これに対しては、会長ほか理事数名からは、予選問題等を送っていること、他の団体の日珠連は中止したことや震災で被災した現地の状況など考慮すると、苦渋の選択として「中止」に至ったとの説明が行われた。今は、会員相互で助け合い、一日も早く被災地が復興するために、出来ることをする時である等々の意見が、他の会員から出された。

議長は、質疑、意見等他にないことを確認し、採決を行ったところ、全会一致で第2号議案は原案通り、可決承認された。

【報告事項】

事務局より配布資料に基づき「東日本大震災 被災状況と義援金の集計・配賦の件」、「平成23年度指導者研修及び創立50周年記念事業」、「公益法人に向けた取組」、「新入会員承認の報告」、「平成23年度珠算・暗算／算数検定問題発注から賞状発送までの日程」について報告が行われた。

【その他】

検定受検協力優秀支部表彰、行事協力支部表彰等が行われた。

●一般社団法人全国専門学校情報教育協会第1回定時総会

6月22日、東京都・中野サンプラザにおいて一般社団法人全国専門学校情報教育協会第1回定時総会が開催された。

第1号議案 平成22年度事業報告

第2号議案 平成22年度収支決算報告

第3号議案 平成23年度事業計画案

第4号議案 平成23年度収支予算案

の各議題について審議を行い、全会一致で承認を得た。

平成23年度は、研修事業では教員研修会の実施、専修学校フォーラム2012の開催等、また、イベント事業においては、第20回全国専門学校ロボット競技会及び第8回ビジネスプロデュースコンペティションの開催が承認された。また、本会の目的、理念を明確化するため、新規収益事業の企画実施を担う企画委員会に役割を付加し総務企画委員会とすることが承認

された。

●全国予備学校協議会第34回定例総会

6月29日、全国予備学校協議会の第34回定例総会が東京都・東京ガーデンパレスで開催された。参加者は委任状を含めて58名。

早原瑛会長の会長あいさつに続き、定足数の確認後、議長に早原会長、議事録署名人に千葉雅保副会長と守谷たつみ副会長が選出され議事に入った。

【第1号議案 平成22年度事業報告】

【第2号議案 平成22年度収支決算報告】

第1号議案・第2号議案は一括上程され、総会資料に基づき事務局より報告。両議案とも異議なく拍手承認された。

【第3号議案 平成23年度事業計画案】

【第4号議案 平成23年度収支予算案】

第3号議案・第4号議案は一括上程され、総会資料に基づき事務局が説明。両議案とも異議なく拍手承認された。

●NPO 法人全国美術デザイン教育振興会第8回定例総会

NPO 法人全国美術デザイン教育振興会は、6月29日、第8回定例総会を東京都・日本デザイン専門学校で開催した。出席総数は27会員(委任状含む)、総会の成立が確認された。

総会は鳩山太郎理事長の宣言により開会。議長は鳩山理事長が就任、議事録署名人には高山正喜久氏、長島実氏が選出され、審議に入った。

【第1号議案 平成22年度事業報告・第2号議案 平成22年度収支決算報告】

事務局長より平成22年度の事業報告がなされ、了承された。引き続き平成22年度収支決算報告書に関し報告、監査報告書が読み上げられた。質疑応答後、原案通り承認された。

【第3号議案 平成23年度事業計画案】

昨年度に引き続き本会の健全な運営のため1.会員の拡大、2.基金訓練事業の実施、3.検定事業収入増計画の実施、4.アニメ☆エンタメ検定の実質的発信、5.アデックの露出度を高める、6.費用対効果を考え広報戦略を検討実施する。

上記を踏まえ以下の事業を行う。

○研修事業

アデック独自の研修企画を実施する。

○広報事業

今までのメンバーズブックに変え一目でアデックの活動が理解できるような仕様形態に変更する。ホームページを事務局管理としリニューアルを行う。

○第22回全日本高校デザインイラスト展事業

実行委員長に伊東啓一を指名し、事業担当理事として長嶋実副理事長を指名し実施する。なお本会奨学金の出資配分を受賞学生入学該当会員校50%、ADEC50%とする。

○検定事業

色彩士検定を実施する。第30回を平成23年9月11日、第31回を平成24年1月22日に実施

する。

○東日本大震災被災者支援事業

1. 被災者メンタル支援の一環でイラスト募集を呼びかけ、Web 上にアップする。機会が生じたら現地でのオリジナル展示も実施する。

2. 企業等に向け被災教育機関に送る画材の提供を呼びかけ、現在集積中。

【第 4 号議案 平成 23 年度予算案】

事業計画に基づき、予算案を提案した。

【第 5 号議案 役員改選】

議長は、役員全員が任期満了により退任しており、事業運営上急迫の事情があるため、後任役員の選任について、定款第 3 章役員、第 13 条種別及び定数、第 16 条第 1 項の規定に基づき役員の選任案を提案した。理事候補者は鳩山太郎、長嶋実、平田眞一、宮畑岳司、横村一夫、天野光、小田一幸、上田哲也、山本秀一、高山正喜久、伊東啓一、また、監事候補者は太田厚生、大橋啓一として提案。出席会員全員の賛同を得て承認された。なお被選任者はその就任を承諾した。

上記 1 号議案から 5 号議案にいたる全ての議案は質疑応答の後出席会員全員、委任状出席会員全員の賛同を得て承認された。

以上で全審議を終了し、議長は閉会を宣言した。

●全国語学ビジネス観光教育協会第 29 回定例総会

6 月 30 日、全国語学ビジネス観光教育協会の第 29 回定例総会が東京都・東京ガーデンパレスで開催された。参加者は委任状を含めて 25 名。

早原瑛理事長からの理事長あいさつに続き、定足数の確認後、議長に早原理事長、議事録署名人に石塚勉副理事長、小野薫副理事長が選出され議事に入った。

【第 1 号議案 平成 22 年度事業報告】

【第 2 号議案 平成 22 年度収支決算報告】

第 1 号議案・第 2 号議案は一括上程され、総会資料に基づき事務局が報告。両議案ともに異議なく承認された。

【第 3 号議案 平成 23 年度事業計画案】

【第 4 号議案 平成 23 年度収支予算案】

第 3 号議案・第 4 号議案は一括上程され、総会資料に基づき事務局が説明後、両議案ともに異議なく承認された。

【第 5 号議案 今後の組織運営について】

事務局より、平成 22 年度より特定非営利活動法人化に向けての準備を進めてきたが、設立に至らなかった経緯及び継続課題として取り組んでいく旨が報告された。

●全国専門学校日語教育協会第 22 回定例総会

6 月 30 日に学校法人文化学園国際会議室にて、第 22 回全国専門学校日語教育協会の定例総会が開催された。出席は委任状を含め 26 名。早原副会長の挨拶に続き、議長に深堀副会長を選出、定足数の確認の後、議事録署名人に早原副会長、武田常務理事が選出された。事務

局より 3 月 30 日開催予定であった予算総会が、東日本大震災のため中止となり、今総会にて 2010 年度事業報告・決算報告と 2011 年度事業計画・予算の審議となる旨を説明し、議事に入った。

【第 1 号議案 2010 年度事業報告】

【第 2 号議案 2010 年度決算及び監査報告】

総務委員会、学生対策委員会、教育研究委員会、国際交流委員会の各委員長より事業報告、事務局より決算報告、監事による監査報告が行われ、両議案とも異議なく承認された。

【第 3 号議案 2011 年度事業計画】

【第 4 号議案 2011 年度予算】

総務委員会、学生対策委員会、教育研究委員会、国際交流委員会の各委員長より報告、事務局より予算説明が行われ、国際交流セミナーの開催を 1 回から 2 回に変更することの修正を含め、異議なく承認された。

【第 5 号議案 2011・2012 年度役員人事について】

任期満了による役員改選期に伴い 2011・2012 年度役員が選任され、異議なく承認された。

【報告等】

事務局より総会資料「専修学校における留学生受入れ枠の弾力化等について」「専修学校における通信制学科・単位制による学科の制度化について（試案）」「東日本大震災被災施設・学生に対する支援」「専門士称号を付与された専門学校卒業生の就労を目的とする在留資格に係る上陸許可基準の見直しについて」について説明。

3 月 11 日の東日本大震災後の留学生の状況把握に努め対応策を検討していくこと、日本語教育振興協会の審査事業について今後の動向に注目していく必要があること、留学生の就職を充実させることが学生募集につながるという観点で事業を推進すること、国内外の高等教育機関との関係について大学ばかりではなく日本語学科を持たない専門学校も視野に入れて改めて推進していくこと、国際交流セミナー 2 回目の対象地域についてチベット、モンゴル周辺を検討すること等について意見を交わした後、閉会。

引き続き 1 回目の国際交流セミナー「ロシアにおける日本語教育事情と東日本大震災の影響」を実施した。

●全国専門学校リハビリテーション協会

7 月 1 日、東京・ルポール麹町を会場として、平成 23 年度全国専門学校リハビリテーション協会定例総会が開催された。出席者は 13 名(委任状含む)。

審議事項、結果は以下のとおり。

【第 1 号議案 平成 22 年度事業報告の件】

配布資料に基づき、事務局より説明が行われた。

【第 2 号議案 平成 22 年度収支報告の件】

配布資料に基づき、事務局より収支報告が行われた後、前鼻英蔵監事より全て適正であると監査報告が行われた。

第 1 号議案、第 2 号議案は一括で審議され、一同異議無くこれを承認した。

【第 3 号議案 年会費徴収一時停止継続の件】

事務局より、平成 22 年度収支報告および平成 23 年度事業計画(案)を踏まえ、繰越金に一定の余剰があることから、年会費の徴収の一時停止を継続することについて提案がなされ、審議の結果、平成 23 年度については、年会費の徴収の一時停止を継続し、平成 24 年度以降の徴収再開については、次回以降の総会において事業計画等を勘案し、検討を行うことに決定。

【第 4 号議案 東日本大震災に伴う義援金抛出の件】

事務局より、配布資料に基づき説明が行われた後、東日本大震災に伴い、被災会員校等に対する義援金抛出についての提案がなされ、審議の結果、義援金 200 万円の抛出（学校法人北杜学園 仙台医療技術専門学校・金 100 万円、全専各連・金 100 万円）が決定。

【第 5 号議案 平成 23 年度事業計画（案）承認の件】

事務局より、配布資料に基づき説明が行われた。審議の結果、原案を一部修正（東日本大震災に伴う義援金抛出事業を追加）のうえ、承認された。

【第 6 号議案 平成 23 年度収支予算（案）承認の件】

事務局より、配布資料に基づき説明が行われた。審議の結果、原案を一部修正（東日本大震災に伴う義援金抛出額を 200 万円に修正）されることとなった。

第 3、第 4、第 5、第 6 号議案は一括で審議され、一同異議無くこれを承認した。